

## クロマダラソテツシジミの明石市西部における観察例

三木 進

クロマダラソテツシジミ(*Chilades pandava*)は2007年7月に宝塚市内で確認されて以来、同年内に大阪府北部、兵庫県東部で発生した。翌2008年も分布を拡大し、北東へは京都、滋賀、南東へは奈良、三重、和歌山県まで広がっているという。兵庫県内では西南部の赤穂市、東南部の神戸市からも報告されているが、明石市西部の江井島に居住する筆者も2008年9月以降、自宅周辺で確認し、若干の知見を得たので報告する。

最初の1頭は新鮮な♂で、9月13日朝、自宅(マンション1階)に作っているバタフライガーデン(1.5×10m)の下草に止まっていた。さっそく付近のソテツを調べてみた。西隣の小学校に巨大なソテツがあり、さらに校内の2、3のソテツ、南側の幼稚園のソテツを見て回ったが、痕跡は確認できなかった。ただ、巨大ソテツの大きな葉が小葉の先端部を中心に徹底的に食害されており、本種による加害の可能性は残った。この時点では、パイオニア的な♂なのかと、さらに調査区域を広げ、大久保町北部の石ヶ谷墓苑なども見て回ったが確認できなかった。

9月24日午前、同上のバタフライガーデンに再び新鮮な1♂が現れ、ダルマハギの花上で吸蜜していた(写真1)。今回も南側の幼稚園のソテツなどを調べたが、新鮮な小さな葉にも痕跡はなかった。



写真1 ハギに吸蜜に訪れたクロマダラソテツシジミ♂

10月11日午前、三度目も同じダルマハギに。新鮮な♂であった。

10月13日、この日も1♂をバタフライガーデンの日溜まりで発見。発生木は近くにあるとみて、気を入れて調査。何と東隣の民家の玄関先に高さ1m、直径20cm足らずのソテツの鉢植えがあり、その周りをメスが飛び交い、幹から出た小さな芽の部分に産卵。食害された数枚の葉を確認した。大きなソテツに若葉がないシーズンは、こうした新芽で世代を重ねているのだろう。

さらに、自宅から500mほど離れたグラウンドの入り口に2株、成長がややいびつで、幹があちこちに出て、葉の大きさもさまざまなソテツを発見。2♂♂4♀♀を採集した。低温期タイプの新鮮で美しいものが混じった。

10月18日は、終日観察、上記のソテツとその周辺で新鮮なものを中心に9♂♂7♀♀を採集した。午後3時半から4時にかけて一時無風状態となると、♂は♀を追尾、♀はソテツの葉にとまり、茂みの内部に入り、産卵行動をとった。なお、この時間帯、外気温は20℃近かったが、多くの個体は太陽に向けて羽を広げ、体温の維持に努めているように見えた(写真2)。また、すぐ側に赤根川があるが、その土手に沿って、ウラナミシジミ同様に勢いよく直線状に飛ぶ個体を複数確認。まるで蝶道を形成しているようであった。

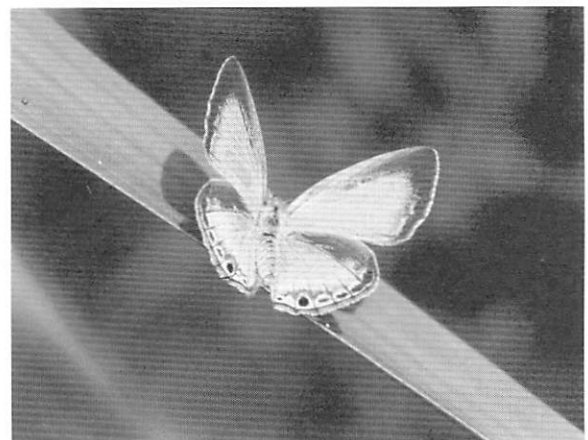


写真2 日光浴するクロマダラソテツシジミ

10月22日、夜間にバタフライガーデンのブッドレアの花穂に

しがみつく本種を確認。早朝、一番に日が当たる場所、または前日、最後まで夕日が当たった場所なのかと、気にかかった。

11月1日には、上記ソテツでもまったく見られなかった。

ところが、11月7日朝、マンション4階の日の当たる自宅窓に(1階はバタフライガーデン用に借りている)新鮮な個体(♀)が静止していた。継続して調査したい。

なお、10月13日、ソテツの小さな若葉を食害している本種の若齢幼虫を発見、飼育したところ、ぐんぐん大きくなり17日に前蛹に、19日に蛹(写真3)になった。一週間ほどで羽化した。成長に要したソテツの葉は、10cm足らずの葉、一枚半だけだった(写真4)。凄まじいまでの生命力を感じさせられた。



写真3 クロマダラソテツシジミ蛹

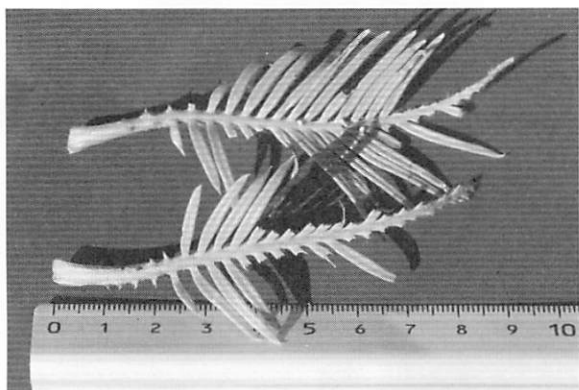


写真4 1頭が成虫になるのに要したソテツの若葉の量

明石市におけるリュウキュウムラサキ県内  
20例目の記録  
山本 航平

リュウキュウムラサキ *Hypolimnas bolina* (Lin.) は東洋熱帯に

広く分布する<sup>1)</sup>蝶類である。国内では迷蝶として知られ、本州以南での記録があり、奄美大島以南では毎年採集されているが八重山においても土着しているかどうかはわかっていない<sup>1)</sup>。

兵庫県内では過去19例の記録<sup>1)</sup>があり、最新のものでは2000年小野市西脇町<sup>1)</sup>のものがある。

このたび筆者は明石市内において、偶然にも本種を採集することができた、よってここにその記録を書き留める。

2007. VIII. 16, 明石市松が丘北町1丁目, 山本航平leg., 同, 標本保管

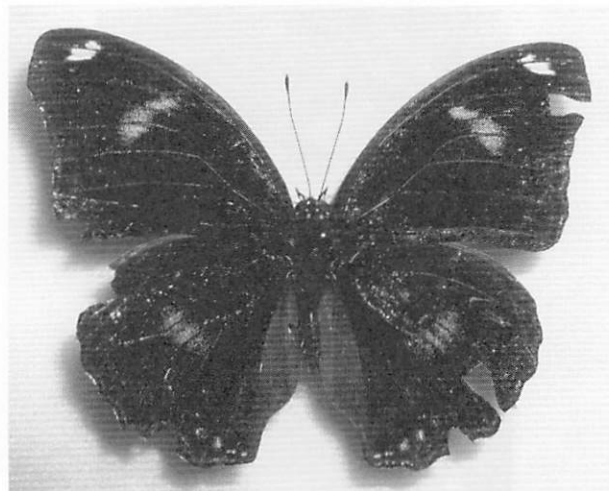
他の昆虫類の採集観察中に、地上2m付近を飛ぶ本種を発見し、捕虫網にて採集した。後日、近藤伸一氏に画像をご覧いただき、台湾型<sup>2)</sup>の同定をいただいた。今回の記録は県内7年ぶり20例目の記録であり、明石市での初記録となる。またこの記録は2007年8月21日の神戸新聞神戸版、8月23日の明石版に掲載された。

本標本は2007年8月25日、神戸市立須磨海浜水族園にて行われた神戸生物クラブ標本同定会にて、9月8~17日には神戸市立青少年科学館にて行われた理科作品展にて展示された。

発表にあたり、ご指導いただいた兵庫県立人と自然の博物館八木剛先生、同定していただき発表をお勧めいただいた近藤伸一氏に深く御礼申し上げます。

<参考文献>

広畑政巳・近藤伸一(2007)兵庫県の蝶:303.



リュウキュウムラサキ